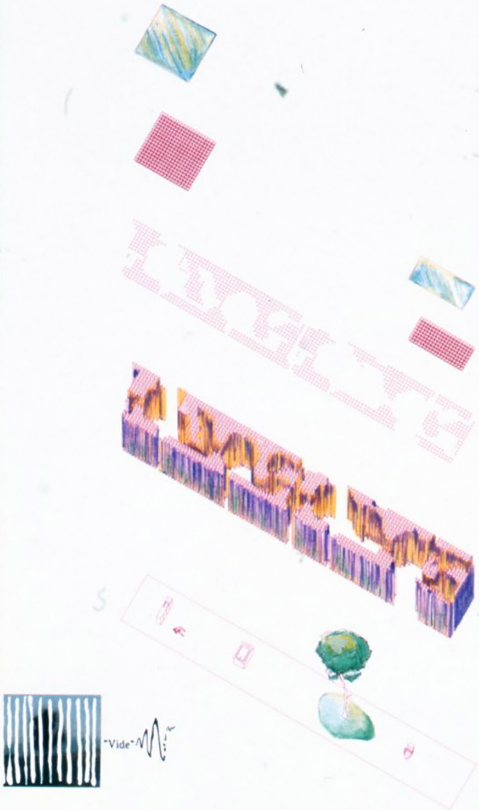
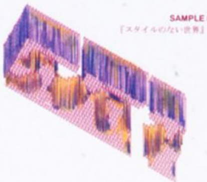
fuLessyu





"vide" syndrome
with satiesfaction
with non style

「あなたのSTYLE NUMBERは54番です。御自由に設定して下さい」

ガラスの「透過性」は、風景の「あちら」と我々のいる「こちら」を仕切る作用をするのと同時に、「あちら」が主たる共有社会の世界である以上、「こちら」はその中での一種の空隙のようなものである。

「透過性を兼ね備えた未来構造」という注目・嗜好すべき点は、
"glass colum"
により、外気と触れることを許された様々な空隙 vide を形成し、ある程度の自閉は破壊され、生活空間を担う個々のスタイル思考に自由度を与える。そう、我々は自由に選べるのだ。暮らし方など。「共有社会・自然への五感」との共存をもって。まるでコンビニ感覚のように・・・

「エリアを明確にしたいのであれば、使用する所のみ"glass colum"を抜いて下さい」

「屋根をかけたいのであれば御自由に。透明でかまいませんか！ 水をはれば水中気分この上ないですよ」

「外気との遮断が必要な人いますか！ 間仕切ブロック還しますよ。ああ、また日本人さんだけ？ 虫が入ってくるなんてつまんないこと考えないの」

「時間がない人で、"glass colum"だけ置いて行きますからあとは御自由に」

身動きせず、起動してくれる諸処のエアコンディションシステム。これらがもたらす「自閉」作用など、空隙空間にはない。
それらはやがて失われつつある「生活の知恵」を想起させてくれる。

SAMPLE 50
『スタイルのない世界』ex

SAMPLE 53
ex

SAMPLE 54
『自閉なき快楽生活のすすめ』→

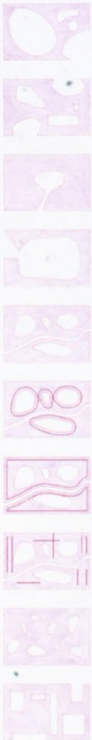
SAMPLE 55
『個人単位での自閉個室群』→

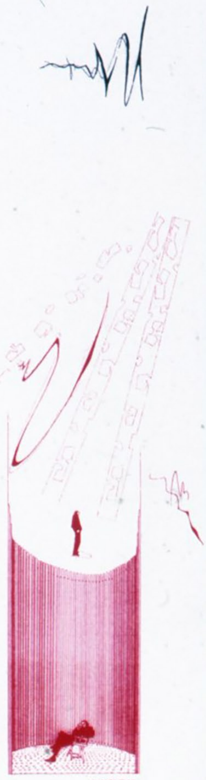
SAMPLE 56
『最小社会単位での自閉領域』→

SAMPLE 57
『領域提示とコンディショニング』
→ SAMPLE 56の増殖→

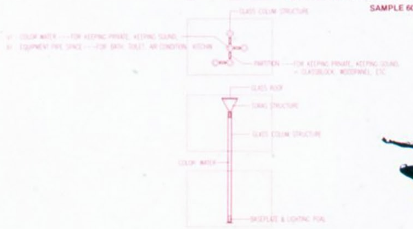
SAMPLE 58
『空間は御自由に』ex

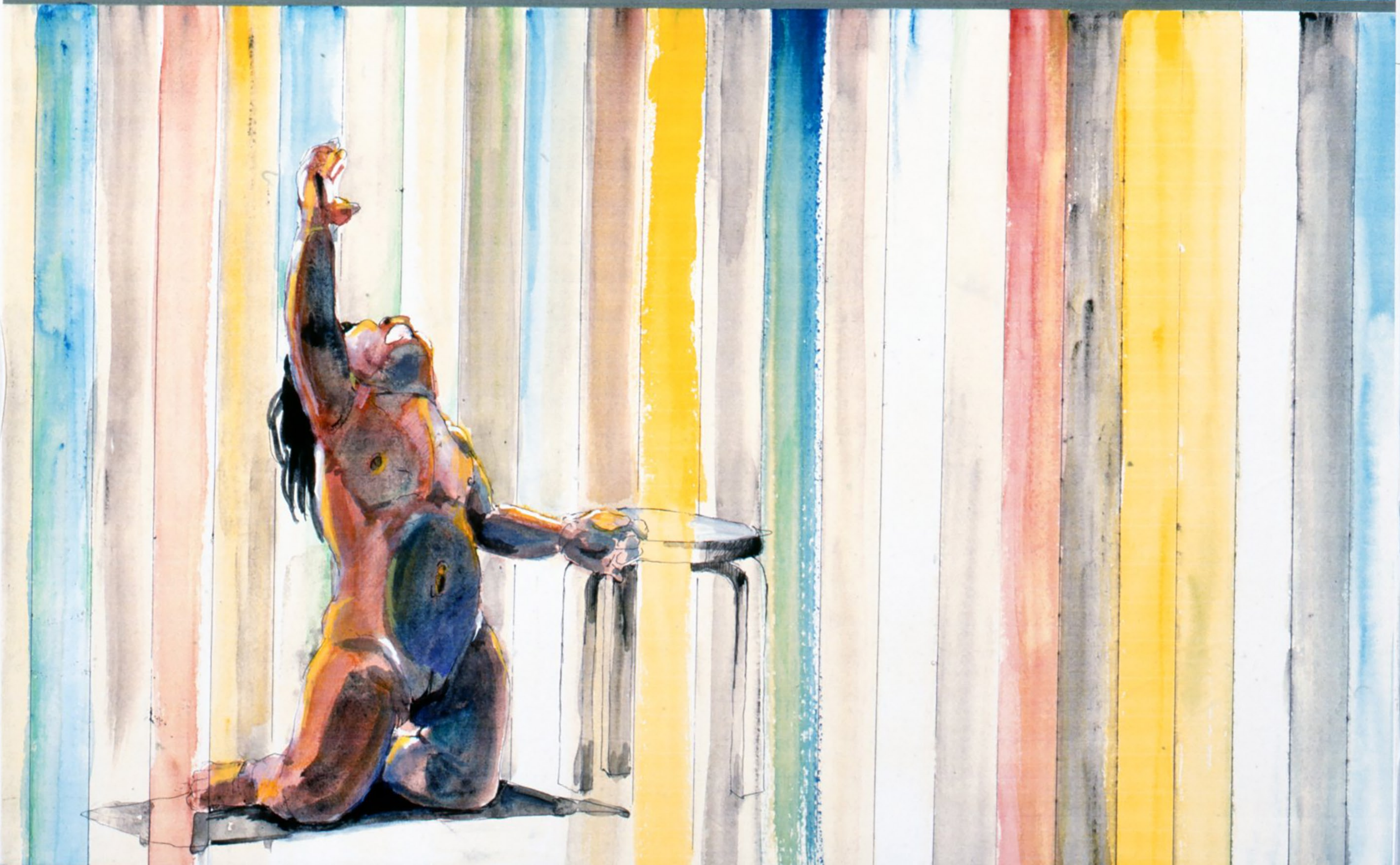
SAMPLE 59
ex





SAMPLE 60


GLASS COLUM STRUCTURE
V: COLOR WATER ---FOR KEEPING PRIVATE, KEEPING SOUND.
W: EQUIPMENT PIPE SPACE ---FOR BATH, TOILET, AIR CONDITION, KITCHIN
PARTITION ---FOR KEEPING PRIVATE, KEEPING SOUND
= GLASSBLOCK, WOODPANEL, ETC.
GLASS ROOF
TRUSS STRUCTURE
GLASS COLUM STRUCTURE
COLOR WATER
BASEPLATE & LIGHTING POAL

SAMPLE54